

- サラ・グラン／高山祥子訳 『探偵は壊れた街で』 【発売中】
気丈な女探偵クレア・デウィット登場！ マカヴィティ賞最優秀長編賞受賞作、新感覚私立探偵小説。
- マイケラ・マッコール／小林浩子訳 『誰でもない彼の秘密』 【4月27日刊行】
初恋の終わり、それは謎解きの始まり。詩人エミリー・ディキンソンを主人公にした清新なミステリ。
- エミリー・ブライトウェル／田辺千幸訳 『家政婦は名探偵』 【5月11日刊行】
頼りない警部補を支えるのは、屋敷の家政婦と仲間たちからなる探偵団!? ヴィクトリア朝痛快ミステリ。
- バリー・ライガ／満園真木訳 『さよなら、シリアルキラー』 【5月11日刊行】
連続殺人犯の息子である高校生が自らの住む町で起きた連続殺人事件を追う。全米で話題の青春ミステリ。
- ジェーン・K・クリーランド／高橋まり子訳 『落札された死』 【5月22日刊行】
チャリティイベントで毒殺事件が発生！ 女性鑑定士が主人公のアンティーク×謎解きシリーズ第2弾。
- ミネット・ウォルターズ／成川裕子訳 『悪魔の羽根』 【5月29日刊行】
連続殺人の容疑者に監禁された女性。彼女は何を隠しているのか？ 英国ミステリの女王の新たな傑作。
- ルネ・ナイト／古賀弥生訳 『夏の沈黙』 【5月29日刊行】
世界 25 か国で発売決定！ 本国イギリスと同時刊行！ 一気読み必至、予測不能の驚異のサスペンス。
- カーリン・イェルハルドセン／木村由利子訳 『子守唄』 【6月刊行】
眠るようにベッドで横たわる母子は殺害されていた。ショーベリ警視以下捜査陣がたどり着く真実とは。
- ネレ・ノイハウス／酒寄進一訳 『悪女は自殺しない』 【6月刊行】
ドイツミステリの女王の人気に火をつけた、警察小説〈オリバー&ピア〉シリーズ第1作がついに登場。
- クリスチアナ・ブランド／猪俣美江子訳 『薔薇の輪』 【6月刊行】
娘との交流記が人気の女優の身边で起こる奇怪な事件！ 巨匠の技が冴えわたる、本邦初訳の傑作長編！
- シャーロット・マクラウド／戸田早紀訳 『おかしな遺産』 【6月刊行】
セーラ夫妻と因縁のあるあの美術館でまたも変死事件が発生！ ボストンが舞台の人気シリーズ最新刊。
- アーナルデュル・インドリダソン／柳沢由実子訳 『声』(仮) 【7月刊行】
北欧ミステリの巨人が描く、一人の男の挫折と転落の悲しい物語。エーレンデュル警視シリーズ最新作。
- カーター・ディクソン／高沢治訳 『ユダの窓【新訳版】』 【7月刊行】
不可能犯罪の巨匠による、密室ミステリの大傑作にして法廷ミステリの金字塔、待望の新訳版にて刊行。
- リンジー・フェイ／野口百合子訳 『7は秘密 ニューヨーク最初の警官』(仮) 【7月刊行】
1846年、創設まもないニューヨーク市警。青年警官の苦闘を見事に活写するリーダービリティ溢れる傑作！
- ダニエル・フリードマン／野口百合子訳 **Don't Ever Look Back** 【8月刊行】
史上最高齢(たぶん) ヒーロー、バック・シャッツが88歳になって帰還。『もう年はとれない』続編。
- ケヴィン・ウィルソン／芹澤恵訳 『地球の中心までトンネルを掘る』(仮) 【2015年夏刊行】
日常から少しだけ逸脱した人々を描き、静かな余韻を残す11の物語。シャーリー・ジャクソン賞受賞作。
- アン・クリーヴス／玉木亨訳 **Dead Water** 【2015年夏刊行】
小船で海に流されようとしていた死体は地元出身の若手記者だった。シェトランドに紡がれる新たな物語。

(※裏面に続きます)

■E・J・コッパーマン／藤井美佐子訳 『幽霊ゲストハウスの夜』(仮) 【2015年夏刊行】
シングル・マザーが買ったお屋敷には、探偵志望の幽霊が取り憑いていた！ コージー・シリーズ第一弾。

■エドワード・D・ホック／木村二郎訳 『怪盗ニック全仕事2』 【2015年夏刊行】
価値のないものだけ盗む、稀代の怪盗の短編を集成した全集第2弾は、シリーズ屈指のクセ球ぞろい。

■シャーレイ・ジャクソン／市田泉訳 『ただの平凡な日』(仮) 【2015年秋刊行】
単行本未収録作・未発表作を中心に贈る鬼オジャクソンの傑作短編集。日本オリジナル、21編収録予定。

■スーザン・リンデル／吉澤康子訳 『もうひとりのタイピスト』(仮) 【2015年秋刊行】
狂騒の1920年代を舞台にふたりのタイピストの運命の交錯を描く驚愕と戦慄の物語。FOX映画化権取得。

■ウンベルト・エーコ／橋本勝雄訳 『ブラハの墓地』(仮) 【2015年末刊行】
史上最悪の偽書『シオン賢者の議定書』の著者シモニーニを主人公にした、エーコ渾身の歴史陰謀小説。

■ケイト・アトキンソン／青木純子訳 **One Good Turn**
『探偵プロディの事件ファイル』続編登場！ フランスに移住したプロディを彼の地で待つ事件とは？

■フレッド・ヴァルガス／田中千春訳 『ネプチューンの風』(仮)
30年前の連続殺人と同様の手口の事件が再び……。CWA賞受賞、アダムスベルク警視シリーズ最高傑作。

■キャロル・オコンネル／務台夏子訳 『ウィンターハウス』(仮)
58年前の一家惨殺事件に端を発する難事件にニューヨーク市警刑事マロリーが挑む。シリーズ最新作。

■クリスティーナ・オルソン／ヘレンハルメ美穂訳 『シンデレラたち』(仮)
母とはぐれた少女が列車から忽然と消えた事件に新米刑事フレデリカが挑む。23か国に翻訳された話題作。

■ジョン・ガスパー **The Ambitious Card**
すべての謎にはタネがある！ マジシャンとその叔父が二人三脚で謎を解くユーモア・ミステリ第一弾。

■M・R・キャリー／茂木健訳 **The Girl with All the Gifts**
ゾンビが跋扈する近未来、知性を持った推定10歳の少女ゾンビが主役のまったく新しいゾンビ小説！

■アーサー・コナン・ドイル／深町真理子訳 『恐怖の谷【新訳版】』
ディクソン・カーがドイル長編のベストと評した、永遠の名探偵シャーロック・ホームズもの第四長編。

■ピーター・トレメイン／甲斐万里江訳 『消えた修道士』(仮)
モアン王国国王と領主襲撃事件にフィデルマとエイダルフが挑む。〈修道女フィデルマ〉シリーズ最新作。

■ニーナ・ブラジョーン 『狼憑き』(仮)
18世紀フランス、謎の生物による連続殺人を調査する銃士とその書記。神の裁きか、狂える人間の仕業か？

■アンネ・ホルト／枇谷玲子訳 『1222』(仮)
吹雪の中孤立したホテルで起きた連続殺人に車椅子の探偵が挑む。『凍える街』のホルト、さらなる傑作。

■ヘニング・マンケル／柳沢由実子訳 『霜の降りる前に』(仮)
ヴァランダーの娘で見習い警官となったリンダ。彼女の親友が失踪した事件で父娘は共同捜査に挑む。

■シャルロッテ・リンク 『最後の足跡』(仮)
結婚式に出席する途上で失踪した女性。数年後友人が探り出した真実とは？ 名ストーリーテラーの傑作。

■ライナー・レフラー／酒寄進一訳 『血塗られた夏』(仮)
連続殺人鬼が起こす事件と、ある少年をめぐる過去の物語が交錯し……。『完全に騙されました！』(訳者)

...and more!